

様式第4（第11条関係）

議会報告会 実施報告書

会 議 名	大口町議会意見交換会
会 場	秋田学習等共同利用施設（総務建設常任委員会） 上小口学習等供用施（文教福祉常任委員会）
日 時	総務建設常任委員会 令和2年2月8日（土） 午前9時30分～午前11時40分 文教福祉常委員会 令和2年2月15日（土） 午後1時30分～午後3時30分
参 加 人 数	総務建設常任委員会 8人（男性 7人 女性 1人） 文教福祉常任委員会 14人（男性 2人 女性 14人）
<p>【添付書類】</p> <p>1 議会報告会 開催結果報告書（様式第2） 総務建設常任委員会 委員長 伊藤 浩 文教福祉常任委員会 委員長 鈴木義彦</p> <p>2 議会報告会 意見・要望対応結果報告書（様式第3） 総務建設常任委員会 委員長 伊藤 浩 文教福祉常任委員会 委員長 鈴木義彦</p>	

令和2年3月31日

大口町議会 議長 倉知敏美 様

上記のとおり提出します。

議会運営委員会 委員長 齊木一三

議会報告会 開催結果報告書

会 議 名	総務建設常任委員会 意見交換会
会 場	秋田学習等共用利用施設
日 時	令和2年2月8日(土) 9:30~11:40
参加人数	8人(男7人・女1人)
出席議員	吉田 正 佐名かよ子 近藤時男 船戸光夫 大竹伸一 伊藤 浩 丹羽 孝 倉知敏美
【主な意見、要望、対応等】	
<p><要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路である秋田21号線の秋田グラウンド横に、信号機を設置してほしい。 ・青色パトロール車は、行政区ごとに1台分の予算をつけてほしい。議員からも粘り強くお願いして頂きたい。 ・南部は通学路の幅が広い。できればそこにグリーンベルトを引いてほしい。 ・自転車安全利用5則の関係で、外国籍の方の自転車の乗り方について、役場か議会から企業に呼び掛けてもらいたい。 ・見守り隊の年齢層が高齢化しているので、若手の後継者が欲しい。 ・議長の諮問内容やその検討結果を、住民にきちんと知らせしてほしい。 ・全議員のメールアドレスを、町議会のホームページに掲載することを検討して頂きたい。 ・今の自治組織への報酬額(総会費等)を増やしてほしい。 <p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国町村議長会が考える議員報酬の手順1から5までについては、どのように考えてみえるのか。 	

令和2年2月27日

議会運営委員会 委員長 齊木一三様

上記のとおり提出します。

総務建設常任委員会 委員長 伊藤 浩

様式第2（第11条関係）

議会報告会 開催結果報告書

会 議 名	文教福祉常任委員会 意見交換会
会 場	上小口学習等供用施設
日 時	令和2年2月15日（土）13：30～15：30
参加人数	14人（男 2人・女12人）
出席議員	江口議員 岡議員 酒井議員 丹羽勉議員 斉木議員 江端議員 鈴木議員
<p>【主な意見、要望、対応等】</p> <p>意見</p> <p>①子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアノッキング事業で民生児童委員さんが知っている人だと安心して話ができる。 ・助産師による赤ちゃん健診訪問は嬉しい。 ・民生児童委員の方には3か月、10か月健診に来てもらってはどうか。 ・児童センターは母親同士が友達になれる場所。父親はなかなか参加ができない。 ・沐浴のしかた、オムツの変え方の勉強会を大口町でもやって欲しい。 ・民間の託児所を仲間と作りたい。 ・すくすくサポートを安心して利用している。 ・シルバー人材センターでベビーシッターができるようにしてほしい。 <p>②高齢者福祉について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金のない人が年金だけで入所できない。 ・認知症の人が徘徊している間は介護が大変。 ・特別養護老人ホームは費用が安い。待機者は何人か。定員は何人か。 ・御桜の里を増築して定員を増やせないか。 ・特別養護老人ホームの費用の違いは。 	

- ・周知活動にもっと力を入れてほしい。
- ・認定を受ける基準がまったくわからない。

③議員定数及と報酬について

- ・議員定数と報酬は前々回、豊田学共と下小口学共で行われたが人数は現在の15名で良い。議員報酬はそちらで決めれば良い。
- ・報酬については第3者委員会を作って審議してみたら。

④その他

- ・いじめの件について教育長は静観、町は弁護士を立てて面談すらしない。

要望

- ・児童クラブのおやつを4月以降も出していただきたい。
- ・学校の下校時間が早くなっているが元に戻してほしい。
- ・南小学校の下校時等にチャイムを鳴らして欲しい。
- ・特養の定員を増やすようにしてほしい。
- ・介護の問題をもっと全町的に取り上げてほしい。
- ・介護認定・判定の基準を詳しく知りたい。

令和2年2月26日

議会運営委員会 委員長 齊木一三様

上記のとおり提出します。

文教福祉常任委員会 委員長 鈴木義彦

議会報告会 意見・要望対応結果報告書

会 議 名	総務建設常任委員会協議会
会 場	大口町役場 3階 第1委員会室
日 時	令和2年3月10日(火) 9:30~10:50
<p>【主な意見、要望等とその対応結果】</p> <p>1 交通安全について</p> <p>(1)内容： 見守り隊の年齢層が高齢化しているので若手の後継者が欲しい。</p> <p>対応： いろんな分野でもそういう傾向があるので、全協で検討すべきである。</p> <p>(2)内容： 自転車安全利用5則の関係で、外国籍の方の自転車の乗り方について、役場か議会から企業に呼び掛けてもらいたい。</p> <p>対応： 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語版の自転車安全利用5則を作成し、外国籍の方がいる企業へ配布すべきと考えるので、町執行部（町民安全課か地域協働課）に対応依頼する。なお、まちねっと大口から「配付だけでは効果が期待できないので啓発に重点を置くべき。翻訳版は仙台市のHPに掲載してあるものの活用が可能とのことで、本町では英語、中国語、ベトナム語だけでよいのでは」との意見があったので、その旨も対応依頼に記載する。</p> <p>(3)内容： 南部は通学路の幅が広い。できればそこにグリーンベルトを引いてほしい。</p> <p>対応： 維持管理課への確認では、「南小校区では、令和元年度に2か所にグリーンベルトを施工済み。今後は地元の要望を聞きながら、公安委員会との調整や関係機関にも働きかけながら、子どもたちの安全確保に繋がるよう、より効果的な交通安全対策を検討し実施していきたい。」と言われたが、他の執行部へ対応依頼する意見と同様に文書にて町執行部（維持管理課）へ対応依頼する。</p> <p>(4)内容： 青色パトロール車は、行政区ごとに1台分の予算をつけてほしい。議員からも粘り強くお願いしたい。</p> <p>対応： 町民安全課に確認したところ、青色パトロール車の活動はボランティア活動であるので、各団体で車が不足している場合は時間的な制限があるが公用車の貸し出しを行っているので、ご利用頂きたいとのことであった。しかし、それでは現状と変わりがない対応なので、意見、要望等について吟味の上対応策を模索してもらえよう、町執行部（町民安全課）に対応依頼する。</p>	

2 議員の定数・報酬について

内容： 全国町村議長会が考える議員報酬の1から5迄については、どのように考えて見えるのか？

対応： 昨年3月に答申が出たばかりなので、これから議会で検討していきたい（意見交換会での回答）。全国町村議長会が考える議員報酬の1から5迄については、議運→全協の順で検討すべきである。

3 その他

(1)内容： 今の自治組織への報酬額（総会費等：会員相互の親睦を図る費用を含む）を増やしてほしい。何かアドバイスをもらえないか？

対応： 私個人で決められないが、報酬額を増やさないかんと思う（意見交換会での回答）。全協で検討すべきである。

(2)内容： 全議員のメールアドレスを、町議会のホームページに掲載することを検討して頂きたい。

対応： 分かりました。議会の方で相談させていただきます（意見交換会での回答）。全協で検討すべきである。

令和2年3月16日

議会運営委員会 委員長 齊木一三様

上記のとおり報告します。

総務建設常任委員会 委員長 伊藤 浩

議会報告会 意見・要望対応結果報告書

会 議 名	文教福祉常任委員会協議会
会 場	大口町役場 3階 第3委員会室
日 時	令和2年3月10日(火) 9:30~10:30
<p>【主な意見、要望等】</p> <p>1 内容： ドアノッキング事業について、民生委員・児童委員による家庭訪問ではなく、乳幼児健診のときに同席すればよいのでは。</p> <p>対応： ドアノッキング事業では、担当する赤ちゃんの名簿を受領後に、毎月第4水曜日に開催される「民生委員・児童委員定例会」開催前の「4か月健康診査」において、担当する赤ちゃんと顔合わせをし、その後、地域で子育てを見守る目的として、併せて家庭訪問も行っています。家庭訪問の意味は、家庭での子育ての様子を見聞きすることで、身近な相談者として支援できる機会をつくることですので、ご質問の健診の機会に限定しない現在の実施がよいと考えていますので、ご理解をお願いします。</p> <p>2 内容： 新生児の沐浴やオムツの替え方、妊婦体験等の勉強会を大口町でも開催できないか。</p> <p>対応： 以前、保健センターでも沐浴の仕方やお父さんの妊婦体験を取り入れたパパママ教室を平日や土曜日にも開催していましたが、参加者が少なくなってきたことや妊婦さんのニーズの個別性やメンタル面でのサポートが課題となってきました。そのため、現在の母親教室では、妊婦さんの出産や育児の不安を軽減することを目的とした内容に変更しています。今後は、支援の必要な妊婦さんには個別で対応していきます。</p> <p>3 内容： コミュニティー・ワークセンターでもベビーシッターができないか。</p> <p>対応： 高齢者による社会活動支援として、託児メニューはありますが、現在、このサービス分野を希望する会員がいないことから、実施しておりません。 こうした担い手不足の要因として、専門職でない方が小さなお子様を預かることについての不安も考えられますが、高齢者に限らず地域の子どもを地域で見守る体制づくりも必要と考えています。</p>	

4 内容： 現在、通常10分の休憩時間が5分間となり、チャイムもなくなり、トイレから戻るとすでに授業が始まっていることもあるため、児童がトイレに行くのを我慢してしまふことがあります。また、休憩時間が5分短縮になったことにより、下校時間が午後3時前に帰ることもあり、未満児の子どもを保育園に入れて働きたいと思っているが、子供の時間に合わせてパートの時間を短縮すると保育の要件を満たすことができず預けることができなくなり、働くことができなくなります。以上の理由によりチャイムの復活と休憩時間を元の10分に戻していただきますようご検討をお願い致します。

対応： 町内小学校は、自ら考え行動できる子を育てることを目標に、以前からノーチャイムに取り組んでいます。成果として、5分のインターバルにも対応して時計を見て行動できるようになってきております。

トイレの利用につきましては、南小学校は数も充実し、場所も行きやすい環境にあります。トイレに行っていて授業に遅れるということはなく、みんなが揃うまで待って、全員そろったことを確認した上で授業を始めると聞いています。

令和2年度からは、新学習指導要領の本格実施に伴い、外国語教育やプログラミング教育に対応する為、低学年の下校時間も含めた全学年での日課を変更することとなりました。このような状況でありますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

5 内容： 令和2年1月8日付「放課後児童クラブにおけるおやつ提供について」の廃止に関する通知について、保護者の立場から、また、子供達自身の意見としても、おやつは1日3食では足りない大事なエネルギー源であり、友達と楽しく食べるおやつの時間は、「リラックスするため」「休憩するため」「気分転換するため」に必要不可欠と考えますのでおやつの提供を継続していただきますようお願い致します。

対応： 廃止に関するご案内を1月にしましたが、その背景には、児童の嗜好の多様化やアレルギー児の増加があります。しかしながら、2月15日の議員との意見交換会ので、保護者の方から継続の要望があり、再度検討を重ねた結果、4月以降おやつの持ち込みによる対応で進めていくこととしました。すでに、保護者の皆様には、ご案内を発送しましたのでご理解をお願い致します。

- 6 内容： 町内の高齢者の方が、高齢社会をもっと自分の問題として意識が持てるように、町より地域包括支援センターの役割や詳細について、広報おおぐちなどで特集を組んだり、体験者より利用を検討されている方々へ体験談を伝えるような場を設けたりするなどして周知を促してほしい。
- 対応： 平成27年4月号から毎月、『大口町地域包括支援センターだより』として、地域包括支援センターの役割や高齢者の皆さんに向けたお知らせを広報おおぐちに掲載しています。
- また、『地域包括ケアシステム』の推進にあたり、地域自治組織の協力をいただきながら、地域の皆さんと意見交換の場を設けてきました。そうしたことから、各地域で実施される事業やサロン等に『出前講座』としてお声かけいただけることも増えてきています。今後も引き続き、積極的に周知啓発活動に努めていきます。
- 7 内容： 介護認定・判定の基準がよくわからないのもっとわかりやすい説明書を作成してほしい。
- 対応： 『介護保険ガイドブック』において、介護保険の申請から認定までの流れやサービスの利用の仕方を紹介しています。
- 要支援・要介護認定については、全国一律の基準に基づき、統一された研修を受講した認定調査員が、対象者のご自宅や入院・入所先等を訪問し、ご家族やその方の状況をよく知っている方の立ち会いのもと、認定調査を実施しています。
- 判定基準に関する説明書は作成しておりませんが、調査時に、対象者ご本人やご家族の状況に合った方法で、認定調査の基本的事項や手順に加え、介護保険制度についても丁寧に説明をしておりますので、ご理解ください。

令和2年3月16日

議会運営委員会 委員長 様

上記のとおり報告します。

文教福祉常任委員会 委員長 鈴木 義彦